

2023年度「連合長野ふれ愛基金」

実績報告書

2025年 2 月 20 日

公益財団法人長野県みらい基金理事長 様

所在地 〒385-0022
佐久市岩村田 765

団体名 岩村田本町商店街振興組合

代表者職氏名 代表理事 阿部 眞一



「連合長野ふれ愛基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

「子どもの居場所 おいでなん処」が発信するフードドライブ事業

2 助成対象事業の実施期間

2023 年 12 月 15 日 ～ 2024 年 1 月 31 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的にやったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

フードドライブイベント実施

① 2024.2.11. 「初午祭における子どもの居場所イベント」

会場：「おいでなん処」(佐久市岩村田 765・子どもの居場所事業実施会場)

対象：居場所利用者及びその家族、初午祭参拝者

実施内容：「フードドライブ」、「ミニフリマ」、「学用品リユース」を実施。

フードドライブ開催にあたっては、「佐久地域振興局」「佐久市社会福祉協議会」「佐久労働者福祉協議会」「近隣の有志の農家」など、皆さんの協力の下で品物をそろえて、フードドライブを実施。並行して「ミニフリマ」(これも商店街のお店や、居場所に関わる方々の協力で出品)「学用品リユース」(初午祭チラシでの告知で集まった学用品など)を実施できた。のフードドライブで寄贈いただいた、食品、お米、飲み物など、

② 2024.7.15-16 「岩村田祇園祭」における子どもの居場所イベント」

会場：「商店街石橋屋空き店舗(おいでなん処向かい)」

対象：居場所利用者及びその家族及び、「祇園祭来場者」

実施内容 上記イベントに加え、ゲームコーナーを加えて実施

(様式第3号)

4 達成できた状態・成果

(この事業で具体的に実現できた状態、誰がどのような助けを得られたのか)

これらの事業を契機として「子どもの居場所」の存在を地域に周知できるのに役立った。それにともない、「フードドライブ」に使ってほしい、居場所の食材に使ってほしいという、篤志家が増えてきたこと、またそれらの支援が、単発でなく継続的に実践されていること。また、地域の連携を取りたい団体(佐久地域子ども応援ネットワーク、長野県みらい基金、佐久市社会福祉協議会など)との連携が事業を進めるごとに強化された。それに伴い、リーチアウトしたい家庭(困窮家庭、ひとり親家庭、共働き家庭など)の居場所利用が、増加してきたことはそれらの家庭の子どもたちが「心安らぐ場所」「安心して時間を過ごせる場所」として「おいでなん処」の存在が地域に認められつつあることにつながっている。併せて、小中学校との連携も並行して行っていることで、地域全体で支援の必要な子どもたちに寄り添える状態になってきているのは大きな収穫である。

5 基金設立者様へのご報告(メッセージ)

この度は、連合長野様のご厚意によって購入できた備品(冷凍庫、コンテナボックス)により、この事業の支えとなる「食事支援」「フードドライブ」事業の運営をするにあたり、大変有効に活用させていただいております。子どもの居場所利用者も増え(年間1800名)、食事提供に際しても、作り置きが冷凍できるなど、常時活躍してもらってます。また、フードドライブなどでいただく食材等の倉庫保管に、コンテナボックスも重宝しております。本当にありがとうございました。

6 事業の実施状況を示す書類(別添)

- (1) 収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支計算書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)

2023年度「連合長野ふれ愛基金」実績報告

2025年2月20日

岩村田本町商店街振興組合



コンテナボックス青3個、黒2個



パナソニック冷凍庫



のぼり 使用風景 3種



フリマイベント 2024.2.11



イオンでのイベント 2024.9.14

2023年度「連合長野ふれ愛基金」

実績報告書

2024年1月15日

公益財団法人長野県みらい基金理事長 様

所在地 長野県須坂市旭ヶ丘 7-55
旭ヶ丘ふれあいプラザ内

団体名 旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクト

代表者職氏名 代表 吉田 洋



「連合長野ふれ愛基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

食事困窮者のためのプラザ食堂フードドライブ

2 助成対象事業の実施期間

2024年 1月 1日 ～ 2024年 1月 31日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

NPO ホットライン信州様、須坂市社会福協議会様、須坂市 JA 様、アスザックフーズ様、地元農家様などより多岐にわたる支援品の提供を受けており、毎週水曜日の弁当 TAKEOUT、月1回のカレー TAKEOUT で使用するほか、カレー TAKEOUT 時のお土産、食事困窮家庭への食材支援などを行っている。保管場所は確保されたため、より一層数多く食材支援を行うことができた。

(様式第3号)

4 達成できた状態・成果

(この事業で具体的に実現できた状態、誰がどのような助けを得られたのか)

活動場所が市の公共施設、地域公民館のため保管場所に苦慮していた。今回の支援金を利用して保管用の棚を製作した結果、従来積上げるだけの雑然とした状態で保管していたものが整理整頓され、公民館職員、利用者の方にはかなり神経を使っていた、支援をお断りするケースも多々あったが、遠慮なく支援を受けることが可能となった。毎週水曜日月4回しか支援できなかった食事困窮家庭へも弁当だけでなく食材支援も。より活発に行うことが可能となりました。

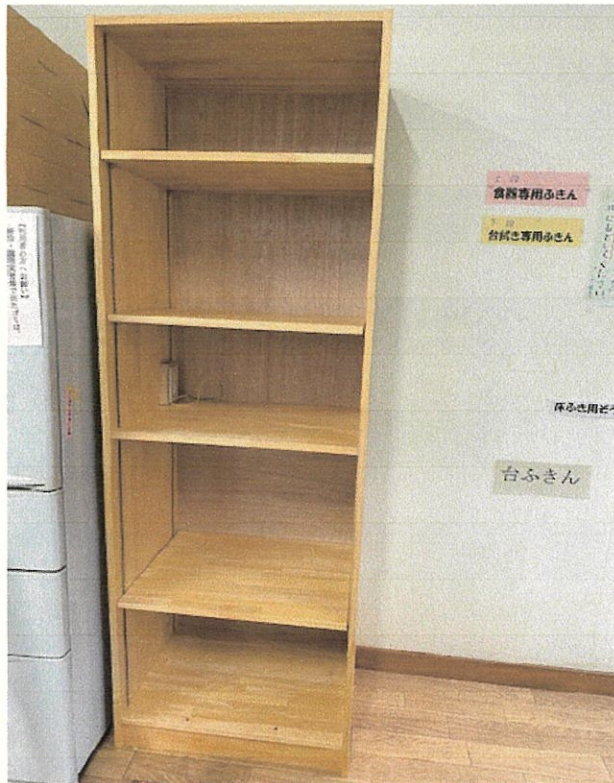
5 基金設立者様へのご報告(メッセージ)

2016年よりこの活動を続けていて、今回我々の活動をご理解いただき心より感謝申し上げます。弁当・カレーTAKEOUTとも補助金の確保が一番の課題です。本年2月より須坂市からご支援いただくこととなり、昨年までの「その日暮らし」体質からは脱却できそうです。公民館の管理者(館長)は歴代当プロジェクトの事務局長となっており、この活動にも積極的に応援していただいております。事業継続のための後継者養成については難しい問題ですが、地元小学校のPTA関係、事業に参加しているヤングママ、そして事業に共感しているボランティアに積極的にアプローチを行っています。プラザ食堂開設当時低、学年で参加していた児童たちが高校生・中学生となり調理・盛付け・受付などを手伝ってくれています。この層の育成もしっかり行っていきたいと思っています。

6 事業の実施状況を示す書類(別添)

- (1) 2016年収支報告書(様式第3-1号)
- (2) 収支計算書の証拠書類(領収書の写し等)
- (3) 活動の実施風景写真(外部公開可能なもの)
- (4) その他参考資料(事業の経過や成果を証するもの)

活動写真



2023年度「連合長野ふれ愛基金」

実績報告書

2025 年 1 月 31 日

公益財団法人長野県みらい基金理事長 様

所在地 長野県松本市神林 2327-15

団体名 ヒッポポ食堂

代表者職氏名 代表 小山 深雪



「連合長野ふれ愛基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

子供の居場所と子育て応援！「ヒッポポこども食堂」のフードドライブ

2 助成対象事業の実施期間

2023 年 12 月 5 日 ～ 2025 年 1 月 31 日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

松本市の神林公民館で月に一回開催。神林地区の子どもたちとその保護者の他に、菅野小学校にメール配信をして頂き学区内の子どもたちも参加した。実施期間中の延べ参加者数は、子ども約 420 名 大人約 210 名 計約 630 名でした。

活動内容は多世代交流を目的としたイベント（夏祭り、クリスマス会、正月の餅つき、体育館を利用した遊び、親子工作など）、学生ボランティアによる学習支援、昼食の提供、地域の農家様から寄付を頂いた農作物およびフードドライブによる集まった食品等を参加家庭に配布をしました。

(様式第3号)

4 達成できた状態・成果

(この事業で具体的に実現できた状態、誰がどのような助けを得られたのか)

これまで子ども食堂開催までの期間に保管できる食材の量が限られ、安定した量の食材を配布できなかったが、助成金を利用させていただき購入した物置を活用して、常温にて長期保管可能な食材を物置で保管することで、より多くの安定した量の食材を配布することができました。

また、ボランティアを含め参加された方、また地域の方に配布する食材がどのように集まったのか話す機会が多く、フードドライブ活動を知ってもらうきっかけになりました。

参加された方の口コミなどにより、毎回開催するにあたり多くの参加希望があり、新規で参加してくれる方も多くいます。微力ではございますが、家庭の事情により食材等を必要とされている方の手助けになれたと感じています。

5 基金設立者様へのご報告（メッセージ）

この度は助成をいただきましてありがとうございました。参加された方の感想などをお聞きすると昨今の物価高等で家計が厳しいなかでの、食材の配布はとても助かるとの声をいただいています。今回の助成金で購入させていただいた物置は長期で活用できるものですので、今後も食材などを必要としている方々に安定した量の食材を配布できるように、活動してまいります。是非とも今後もフードドライブ活動に関わるご支援をよろしくお願いいたします

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）









2023年度「連合長野ふれ愛基金」

実績報告書

2025年1月31日

公益財団法人長野県みらい基金理事長 様

所在地 長野県飯田市東和町 2-35
丘の上結いスクエア 5階

団体名 MARBLEs

代表者職氏名 代表 森中 義智



「連合長野ふれ愛基金」の助成事業が完了したため、下記のとおり報告します。

記

1 事業名

「新鮮な生鮮食品と安定品質の冷凍食品」を松川町～下条村までの飯田下伊那一帯の子ども食堂に届ける事業。

2 助成対象事業の実施期間

2023年12月5日

～

2025年1月31日

3 実施した取り組み

(この事業で具体的に行ったこと、誰に・いつ・どこで・何をどのように行ったのか)

2024年10月20日イオン飯田上郷店主催(南信州振興局経由)のフードドライブ活動にて食品集めを行い、集めた生鮮食品および冷凍食品を搬出するお手伝いをさせて頂きました。

(様式第3号)

4 達成できた状態・成果

(この事業で具体的に実現できた状態、誰がどのような助けを得られたのか)

2024年10月20日、イオン飯田上郷店主催（南信州振興局経由）のフードドライブ活動に参加し、私たち「MARBLEs」は生鮮食品や冷凍食品の搬出のお手伝いをさせていただきました。

これらの食材は、地域の子ども食堂や生活にお困りの方々へ、安全に配慮しながらお届けすることができました。

今回の活動を通じて、フードドライブを実施する団体や子ども食堂の運営団体、行政の皆さまと連携を深めることができ、地域の食支援ネットワークづくりにもつながったと感じています。

また、集められた食材を必要な場所へスムーズに届ける体制も整えることができ、今後の活動に向けた大きな一歩となりました。

特に、生鮮食品や冷凍食品の取り扱いには温度管理が欠かせないことから、ポータブル冷蔵冷凍庫の導入が、より安全に、安心して、安定的な配送につながったと実感しています。

こうした成果は、単なる食材の提供にとどまらず、地域のつながりを深め、持続可能な支援の形を築くことに繋がったと思います。

5 基金設立者様へのご報告（メッセージ）

このたびは、私たち「MARBLEs」の活動にご支援を賜り、誠にありがとうございました。

皆様からの温かいご寄付のおかげで、2024年10月20日に開催されたイオン飯田上郷店主催のフードドライブ活動にて、生鮮食品や冷凍食品の回収・搬出支援を無事に行うことができました。

皆様のご厚意が、地域の子どもたちやご家庭に笑顔と温かさを届けています。心より感謝申し上げます。今後とも、私たちの活動を見守っていただけますと幸いです。

6 事業の実施状況を示す書類（別添）

- (1) 収支報告書（様式第3-1号）
- (2) 収支計算書の証拠書類（領収書の写し等）
- (3) 活動の実施風景写真（外部公開可能なもの）
- (4) その他参考資料（事業の経過や成果を証するもの）

